

ふれあいの里・来て・見て・体験

平成26年度

川越市農業ふれあいセンター 事業実績



(農業体験・稲刈り体験事業)

〒 350-0855 川越市大字伊佐沼887番地
TEL 049-226-6551 FAX 049-226-6552

目 次

	ページ
農業体験事業	1
農業講演会	1
ふるさとの味伝承学級	2
手づくり味噌加工指導事業	2
園芸講習会	3
写真等の展示	3
営農・家庭菜園相談事業	4
農業ふれあい事業（実行委員会関係）	4
鴨田ふれあい農園	5
伊佐沼農産物直売所及び伊佐沼庵	6
農業ふれあいセンター利用状況一覧表	7

農業体験事業

自然や土とふれあい、農業体験を通して農業・農作物への理解を深めることを目的に実施した。

事業内容	開催日	対象	人数	経費
田植え体験	6 / 1	市民	115	無料 (36 家族)
じゃがいも収穫体験	6 / 29	市民	225	800 円 (74 家族)
稲刈り体験	9 / 28	市民	108	無料 (35 家族)
小松菜・ほうれん草栽培体験	10/25	市民	33	500 円(25 家族)
さつまいも収穫体験	10/25	市民	183	1,000 円(65 家族)
里芋・大根・白菜の収穫体験	11/23	市民	347	1,000 円(95 家族)
合計	6 回		1,011	

農業講演会

「川越地域の農業を学びなおす」をシリーズテーマに、農業者を対象とした講演会を開催した。

開催日	受講者数	内 容
2 / 27	1 6	「埼玉川越ブランドの可能性」 講師 日足 好春 氏
3 / 12	1 4	「六次産業化の取り組み」 講師 大野 丈往 氏

ふるさとの味伝承学級

伝統的食生活を次世代に継承するため、県知事が認定する「ふるさとの味伝承士」を講師に迎え講習会を開催した。

講習名	開催日	講師	受講者数
冷や汁うどん講習会	6/28	田中テル子・山田キヨ子	20
やさしい二八そば講習会	7/19	小林英夫・栗原政仁	24
田舎饅頭の作り方講習会	7/25	田中八重子・山田キヨ子	23
田舎饅頭の作り方講習会	10/23	田中八重子	24
やさしい二八そば講習会	12/12	小林英夫・栗原政仁	23
赤飯・けんちん汁の作り方講習会	11/29	田中テル子・山田キヨ子	17
やさしい二八そば講習会	3/14	小林英夫・栗原政仁	23
合計	7回		155

手づくり味噌加工指導事業

日常の食生活に欠かせない「味噌」を身近な材料でつくり、手づくりの良さと安全な食品への認識を深めることを目的に指導した。

時期	対象者	グループ数	人数	仕込み量 kg
4月	市民	7	36	1,320
10月	〃	5	31	1,000
11月	〃	7	37	1,280
12月	〃	13	78	2,520
1月	〃	17	84	4,080
2月	〃	15	78	3,600
3月	〃	15	75	2,480
計		79	419	16,280

手づくり味噌品評会

- 開催日 11月22日(土)審査、11月23日(日)展示
対象者 農業ふれあいセンターで味噌づくりを体験された方
内容 55点の出品があり、審査委員による厳正な審査の結果、色・味・香りのよい味噌を作った10名に賞品を授与した。出品された味噌は、ふれあいセンターまつりに展示した。

園芸講習会

ラベンダーで香りのインテリア講習会

- 期 間 6月29日(日)
場 所 農業ふれあいセンター緑地広場
講 師 安田 郁江 田中 経代
参加者 30名

写真等の展示

農業ふれあいセンターまつり開催時に、伊佐沼写真クラブ会員による作品、ハーブの2クラブ(ラベンダー・ローズマリー)によるハーブ作品、押し花クラブ会員作品、農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み活動の展示等を行った。

- * 農業ふれあいセンターロビー 展示コーナー等
- ・伊佐沼写真クラブ会員 作品展示
- ・ラベンダークラブ・ローズマリークラブ 作品展示
- ・押し花クラブ会員 作品展示
- ・農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み活動の展示
資料、写真パネル、水質改善のためのシジミの展示等
「伊佐沼周辺田園環境保全組合」「古谷本郷地区農地・水・
環境美化サークル」「山田田園環境保全推進グループ」
- ・三富地域農業振興活動の展示

営農・家庭菜園相談事業

- 目 的 鴨田ふれあい農園の利用者をはじめ、作物づくりの相談に広く
対応することを目的に開催した。
- 内 容 「営農・家庭菜園相談」
- 受付時間 毎月第1土曜日、午前10時から午後4時
- 指導者 営農園芸相談員 小林 五郎

営農・家庭菜園相談

99件の相談を受け、主に野菜栽培への指導・助言を行った。
また、午後1時から4時まで「月ごとの菜園作業と手入れ」の
講義を行い延べ148人の参加があった。

農業ふれあい事業（実行委員会関係）

農業ふれあい事業実行委員会による事業

（川越市・鴨田体験農園組合・川越市伊佐沼青空市組合）

かわごえ春の農業まつり2014 4月29日（祝）

参加人数 3,500人

農業関係のイベントを前面に打ち出して、来場者に出来るだけ催しに参加して
もらう「来場者参加型」の祭りとして実施した。

農業ふれあいセンターまつり2014 11月23日（日）

参加人数 2,695人

農村文化の継承とセンター利用者の交流の機会を提供し、農業・農村への
親しみや理解を深めることを目的に開催した。

鴨田ふれあい農園

自由時間の増大・余暇活動の多様化に伴い、農業者以外の方々に野菜や草花を育て土と親しむ場として「鴨田ふれあい農園」を整備し貸出を行った。

面積	1区画(6m×5m)30㎡
利用期間	平成26年3月1日～平成28年1月15日(約2年間)
利用料	7,000円(年額)
区画数	340区画

* 堆肥場を7ヶ所設置する。

鴨田ふれあい農園：圃場共進会

農園利用者を対象に、マナーの向上を図り農園の良好な管理を図ることを目的に実施した。

- ・開催日 6月29日(日) ・ 11月2日(日)
- ・対象圃場区画 340区画
- ・審査結果 優良圃場の利用者30名を農業ふれあいセンターまつりの際に表彰した。

鴨田ふれあい農園：野菜品評会

農園利用者を対象に、栽培意欲と生産技術の向上を図ることを目的に開催した。

- ・開催日 11月22日(土)審査、11月23日(日)展示
- ・出品点数 69点
(葉茎菜類 33点、根菜類 23点、イモ類・豆類 13点)
- ・審査結果 特に優れているもの10点を農業ふれあいセンターまつりの際に表彰した。

鴨田ふれあい農園：福祉区画

障害のある方に、農作業への参加・農産物生産の喜びの場及び憩い場を提供し農業に対する理解を深めることを目的に福祉区画を設けた。

- ・面積 340㎡
- ・完成年月日 平成13年12月10日
- ・施設概要 車椅子利用者用プランター 2基
低床式プランター 2基
大・小プランター 10基

伊佐沼農産物直売所及び伊佐沼庵

安全・安心な農産物の生産と直売による新たな流通分野に取り組むことを目的に、国の「アグリチャレンジャー支援事業」をうけ、農業用倉庫と展示用家屋(旧戸田家住宅)であった古民家を平成 17 年 7 月から 10 月にかけて改修し農産物直売所及び食堂として整備、同年 11 月にオープンした。

経営主体は(有)あぐり小江戸(代表取締役江田勝男)で、地場農産物や米、打ち立てうどんや手作りおにぎりなどの加工品を販売。食堂は「伊佐沼庵」として、天ぷらうどんやけんちんうどんなど昔懐かしい料理を提供している。

平成 19 年 11 月に(有)あぐり小江戸は、安全・安心な地場農産物を消費者に提供するという「地産地消」の取組が、地域農業の振興に貢献したとして県知事から表彰され、平成 20 年 3 月に関東農政局長から感謝状が贈られている。平成 23 年 3 月「伊佐沼庵(旧戸田家住宅)の茅葺屋根の劣化が著しいため、茅の上に金属屋根(ガルバリウム鋼板)をかける改修工事を行った。

事業内容

- * 直売部会(米・野菜・花などの生産者) 81人
- * 加工・食堂部会 17人
川越産の米・小麦・大豆・野菜などを使った加工品の製造
(おにぎり、うどん、小松菜ピリ辛いなり等)

事業の成果

〔来客数〕

	直売所	伊佐沼庵	計
平成 21 年度	125,346 人	22,308 人	147,654 人
平成 22 年度	106,002 人	18,161 人	124,163 人
平成 23 年度	102,386 人	16,020 人	118,406 人
平成 24 年度	104,497 人	19,593 人	124,090 人
平成 25 年度	104,414 人	21,030 人	125,444 人
平成 26 年度	111,386 人	26,698 人	138,084 人

